



四月(小) 卯月

翼宿

四月五日清明の節より
月命戊辰六白金星の月
暗剣殺西北方

日 三月小
四月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	貫宿	下段	日出	入出	満潮	干潮
1日	火	みづのえとら	九紫	新学年、新会計年度、親鸞聖人誕生会、 エープリルフール、三隣亡、一粒万倍日、旧三月小	二	佛滅	とづ	室	大みず	5.28	18.02	6.11	19.39
2日	水	みづのえとら	一白	日光輪王寺強飯式、旧ひな祭り	三	大安	たつ	壁	天火	5.27	18.03	6.51	18.09
3日	木	きのえとら	二黒	隠元禪師忌	四	赤口	のぞく	奎	●	5.26	18.04	7.34	20.41
4日	金	きのと	三碧	奈良菴田大社祭	五	先勝	みつ	婁	十し	5.24	18.05	8.19	22.35
5日	土	ひのえとら	四緑	清明五時四七分、佐原香取神宮御田植祭、 岐阜伊奈波祭、神道修成派大祭、三隣亡	六	友引	みつ	胃	神よし	5.23	18.06	9.07	23.25
6日	日	ひのえとら	五黄	春の全国交通安全運動(15日迄)	七	先負	たいら	昂	神よし	5.21	18.06	9.57	—
7日	月	つちのえとら	六白	●上弦一七時三一分、法然上人誕生会、 世界保健デー	八	佛滅	さだん	畢	くま日	5.20	18.07	10.48	16.21
8日	火	つちのえとら	七赤	花まつり、灌仏会、不成就日	九	大安	とる	背	神よし	5.19	18.08	11.41	17.56
9日	水	かのえいぬ	八白	笠間稲荷春季例大祭、 長浜曳山祭(17日迄)	十	赤口	やぶる	参	大みず	5.17	18.09	12.34	—
10日	木	かのと	九紫	京都平野神社桜祭	十一	先勝	あやぶ	井	●	5.16	18.10	13.29	20.16
11日	金	みづのえとら	一白	メイトル法公布記念日、八せん始め、 一粒万倍日	十二	友引	なる	鬼	天おん	5.14	18.11	14.24	21.02
12日	土	みづのえとら	二黒	世界宇宙飛行の日、 大津日吉大社山王祭(16日迄)	十三	先負	おさん	柳	十し	5.13	18.11	15.19	22.18
13日	日	きのえとら	三碧	京都嵯峨虚空蔵十三詣り、 京都今宮神社やすらい祭	十四	佛滅	ひらく	星	ちいみ	5.12	18.12	16.17	22.53
14日	月	きのと	四緑	科学技術週間、一粒万倍日	十五	大安	とづ	張	神よし	5.10	18.13	17.15	22.53

役所、会社の年度始め、新学年、新入社等、新しい何かが始まる躍動の月である。

気温は日一日と上がり、陽光も明るさと強さを増してくる。上旬には南のほうから桜前線が順調なペースで北上してこよう。

【冠】幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学まで、青少年たちにとって新学年は一つの関門、そして新年間のスタートラインである。

また、大きな転機として就職がある。社会人としての自覚と責任をたずさえて、荒海へと旅立つのだ。昔であればさしずめ初陣というところであろう。

【婚】陽気がよく、シーズンとしてはまさに最適といえる。結婚式を挙げる人も多いが、披露宴などには招かれる人も多いに違いない。そんなとき、スピーチをする人は当然のこと、短

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	貫宿	下段	日出	入出	満潮	干潮
15日	火	ひのえとら	五黄	○望一六時四二分、高山山王祭	十六	赤口	たつ	翼	大みず	5.09	18.14	18.16	—
16日	水	ひのと	六白	不成就日	十七	先勝	のぞく	軫	母倉	5.08	18.15	19.17	4.52
17日	木	つちのえとら	七赤	土用一四十分、三隣亡、 水戸東照宮祭	十八	友引	みつ	角	母倉	5.06	18.16	20.19	—
18日	金	つちのえとら	八白	発明の日、天理教教祖誕生祭	十九	先負	たいら	亢	神よし	5.05	18.16	21.21	12.12
19日	土	かのえとら	九紫	庚申	廿	佛滅	さだん	氏	大みず	5.04	18.17	22.20	13.25
20日	日	かのと	一白	京都壬生狂言(29日迄)	廿一	大安	とる	房	大みず	5.03	18.18	23.15	—
21日	月	みづのえいぬ	二黒	滋賀多賀大社古例大祭、八せん終り	廿二	赤口	やぶる	心	月とく	5.01	18.19	—	—
22日	火	みづのとら	三碧	●下弦一六時五二分、靖国神社春祭、 滋賀多賀大社古例大祭、八せん終り	廿三	先勝	あやぶ	尾	●	5.00	18.20	1.48	—
23日	水	きのえとら	四緑	甲子、一粒万倍日	廿四	友引	なる	箕	くま日	4.59	18.21	2.49	—
24日	木	きのと	五黄	不成就日	廿五	先負	おさん	斗	十し	4.58	18.21	3.48	—
25日	金	ひのえとら	六白	奈良興福寺殊殊会	廿六	佛滅	ひらく	牛	くま日	4.57	18.22	4.49	—
26日	土	ひのと	七赤	一粒万倍日	廿七	大安	とづ	女	くま日	4.55	18.23	5.49	—
27日	日	つちのえとら	八白	和歌山川辺道成寺鐘供養	廿八	赤口	たつ	虚	五む日	4.54	18.24	6.49	—
28日	月	つちのえとら	九紫	日蓮宗開宗会、己巳	廿九	先勝	のぞく	危	母倉	4.53	18.25	7.49	—
29日	火	かのえとら	一白	●昭和の日、 御嶽山火災追悼祭、米沢上杉まつり、 水沢日高火防祭、大つち、三隣亡、 旧四月大	朔	佛滅	みつ	室	母倉	4.52	18.26	8.49	—
30日	水	かのと	二黒	佐賀有田陶器市(29日)5月5日迄	二	大安	たいら	壁	大みず	4.51	18.26	9.49	—

挨拶にも注意をしなれないといけない。ことに縁起の悪い言葉を使わないことである。例えば、戻る、再び、去る、重ねる、返る(帰る)、離れる、薄い、等、たかが言葉尻ではないか、とと思うかもしれないが、めでたい人生の門出にトラブルがないほうが望ましい。

【登】四月八日は、仏教の祖、釈迦牟尼(しゃかむに)が生まれた日である。釈迦はインドのヒマラヤ南麓の迦毘羅(かびら)城の王子として生まれ、幼名は悉達多(しつたたと)といわれ、三十五歳で仏道の悟りを開いて後、八十歳で入滅するまで、四十五年間布教に専念されたという。

その釈迦誕生日、一般には「花まつり」といっているが、正式には灌仏会(かんぶつ会)、仏生会などと呼ばれ、花で飾った小さなお堂を作り、誕生仏の像をまん中に安置し、その頭上から竹柄杓で甘茶を三回そいで拝むならわしがある。

二十九日は「昭和の日」、激動、多難の時代を歩まれ、太平のもとを切り拓かれた昭和天皇の誕生日である。

(平成十九年施行)